

04

自分の命、他者の命を守るために できることは…

災害の備えとして情報の大切さ

平成23年3月11日に発生した東日本大震災での死者・行方不明者は、2万人近くに上りました。そのほとんどは、地震の揺れによる被害ではなく津波の被害によるものでした。地震が発生してから大きな津波が来るまでに数十分程度の時間があった。つまり、数十分間はほとんどの人々は生きていたこととなります。ではなぜ、こんなに多くの犠牲者が出てしまったのでしょうか？



気象庁リーフレットより

【原因と考えられていること……】

地震、津波のしくみや防災情報の意味、ハザードマップの見方や考え方について十分に理解されていなかったことや、災害や大規模な事故の発生時、「たいしたことはない」などと自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したことの影響が大きかったのではないかとされています。

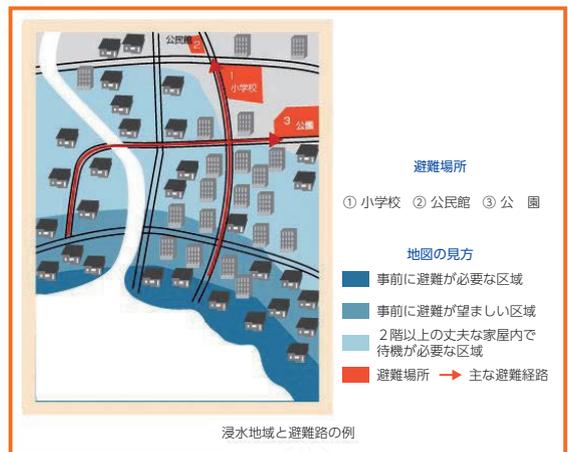
指定緊急避難場所と指定避難所を調べておこう！

【自宅】

- ・ 指定緊急避難場所→
- ・ 指定避難所→

【通学途中】

- ・ 指定緊急避難場所→
- ・ 指定避難所→



浸水地域と避難路の例

国土交通省ホームページより

災害に関する様々な用語や情報の意味を理解しよう！

気象庁は、大雨や強風、津波などによって災害が起こるおそれのあるときは「注意報」を、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」を、さらに、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」を発表して注意や警戒を呼びかけています。特別警報・警報・注意報は関係行政機関、都道府県や市町村へ伝達され防災活動等に利用されるほか、市町村や報道機関を通じて地域住民の方々へ伝えられます。

例えば警報には、大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮、津波などがあります。

自然災害の兆候を知っておこう！



気象庁リーフレット「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」より

災害から身を守ろう

検索

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/fukyu-portal/index.html>

関連する映像を
見てみましょう。



まずは、自助が大切！

今後発生が心配される「首都直下地震」では想定死者数3万人、被害総額200～300兆円、首都機能が喪失。また、「南海トラフ巨大地震」では想定死者数13～40万人、被害総額220兆円、700市町村に災害救助法が適用されるとの予想もあります。これ以外にも、全国に無数にあると言われている活断層による地震や火山の噴火、台風、大雨、暴風、竜巻など、日本では様々な自然災害と向き合って生活していかなければなりません。

これらのリスクをきちんと理解し、自らの責任で自らの命を守ることが求められます。自治体から避難勧告等の発令があっても避難所に退避する住民の割合が極めて低いと言われており、大きな課題となっています。最終的に自分の命を守るのは自分です。

私たちにできること（共助）

高校生は日常の行動範囲も広くなり、その分、「危険」に遭う機会が増えてきます。中学生までの経験をもとに、自らの立場や責任を踏まえた地域社会の一員として期待されている二つのことがあります。

その1：幼児、小中学生の模範としての期待

高校生の行動は、良くも悪くも地域の子供たちのモデルとなっています。子供たちは高校生を観察学習の対象としてとらえています。高校生は見られています。



その2：支援者としての期待

自然災害が多い我が国においては、今後も被害の発生が危惧されています。災害後の生活、復旧、復興を支えるための支援者が必要になります。ボランティア活動は、他人を思いやる心、互いを認め合い共に生きていく態度、自他の生命や人権を尊重する精神などに支えられています。より良い社会づくりのため、高校生には主体的かつ積極的に参加・参画していくことが期待されています。

05

高校生が気を付ける食生活

毎日、朝ごはん食べてる？

テレビやゲーム、パソコン、スマートフォン等で夜ふかしをして、夜食を食べる、朝起きられない、朝ごはんが食べられないなど、悪循環になっていませんか。

どうして朝ごはんは、大切なのだろう？



私たちの体は、寝ている間もエネルギーを使っていて、朝にはエネルギーや必要な栄養素が少なくなっています。

朝ごはんを食べることによる刺激は、体全体に目覚めを伝える信号として重要です。

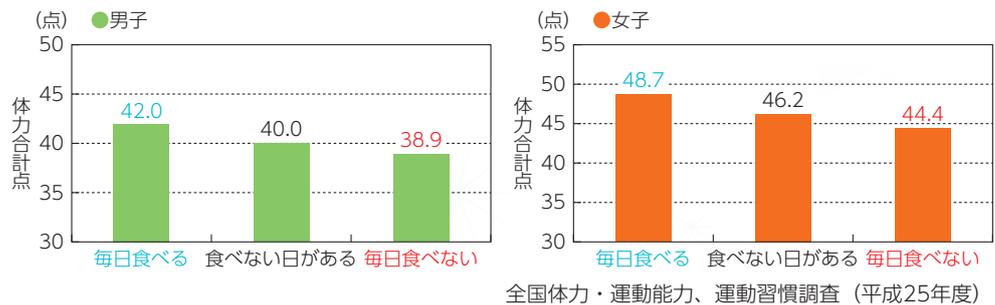
ごはんやパンなどの主食に含まれる炭水化物は、体内で分解されるとブドウ糖に変わり、脳のエネルギーとなります。脳を働かせるための朝ごはんのポイントは、ブドウ糖を十分にとることです。



豆知識

「Breakfast」は、空腹 (fast) を断ち切る (break) ことです！

朝食の摂取状況と体力合計点との関連



中学生を対象とした結果でも勉強にも朝食が大切であることが分かります。

朝食の摂取状況と正答率の関連

朝食を毎日食べていますか	平均正答率 (%)			
	国語A (32問)	国語B (9問)	数学A (36問)	数学B (15問)
食べている	78.2	69.7	66.2	44.4
どちらかといえば、食べている	71.9	61.7	56.5	34.1
あまり食べていない	67.6	56.1	50.7	28.9
全く食べていない	65.3	52.9	47.8	26.3

全国学力・学習状況調査 (平成25年度) (一部改変)

ごはん一膳、食パン一枚にもう一品プラスしませんか？

ごはんやパンにもう一品加えることで、バランスの取れた栄養素摂取につながります！
午前 (あるいはお昼まで) の授業に集中できるようにしましょう！

【和食】

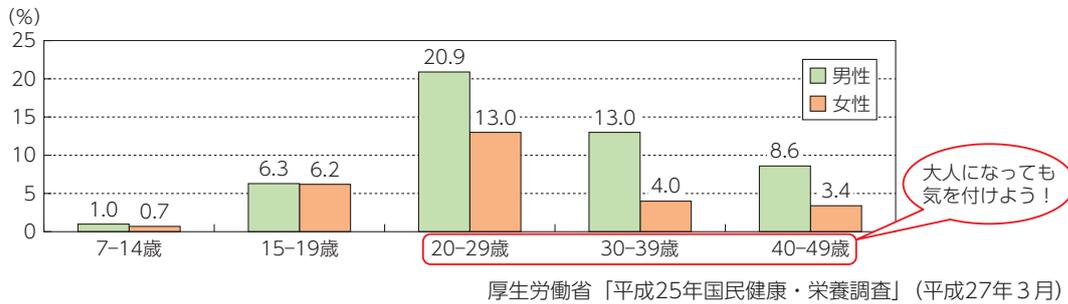


【洋食】



高校を卒業し、一人暮らしをするようになったとしてもバランスのよい食事ができるようにしましょう。← 朝ごはん欠食状況は、20歳代をピークに多く見られます。

朝ごはん欠食状況（「何も食べていない」と回答した人の割合）



私たちの体は、食べたものでつくられている

目には見えなくても、体は日々生まれ変わっています。

体の組織が生まれ変わる周期は、例えば、皮膚は約60日、骨は約100～300日、筋肉は半分が入れ替わるのに平均180日程度かかるといわれています。

体が生まれ変わる材料は、食事によって摂取されるたんぱく質などのさまざまな栄養素です。

右の図からどんなことが
分かりますか？

男女（中学生）とも、朝食を「毎日食べる」集団は、それ以外の集団に比べて、肥満傾向児の出現率が低い傾向がみられます。

朝食の摂取状況と肥満傾向児・痩身傾向児の出現率との関連



平成25年のカルシウム摂取量の調査結果 (1人1日あたりの平均値)

年齢	男	女
7-14歳	667mg	607mg
15-19歳	502mg	431mg

※出典：平成25年国民健康・栄養調査結果

左の実際の数字と
下の基準の数値とを比較してみよう

日本人の食事摂取基準（2015年版）によれば
15-17歳のカルシウムの推定平均必要量は、男子650mg/日、女子550mg/日
推奨量は、男子800mg/日、女子650mg/日



高校生の時期は、大人の体になっていく大切な時期です。大人になってからも健康な体を維持していくためにも、「いま」が大事！

健やかな食生活のために

<http://www.maff.go.jp/j/fs/diet/index.html>

検索

健康な食事についての詳細は、ホームページで調べてみましょう。

